

日本倶楽部会報

平成 28 年 1 月 第 7 号

～ 新 春 挨 拶 ～



会長 石原 信雄

会員の皆様、明けましておめでとうございます。
今年が会員の皆様にとって輝かしい年となることを願っております。

政府は、急激な人口減少と高齢化が進むわが国の現状に対処すべく、経済の活性化、少子化の改善、社会保障の充実強化に全力で取り組むこととしております。

当倶楽部の会員の皆様は、経済・司法・行政・教育等の各分野で指導的な立場に居られた方が多く、わが国の将来について心を痛めておられることと存じます。

当倶楽部は、これまで各分野で活躍してこられた会員の皆様が、第二の人生をより豊かなものとするよう倶楽部の活性化に向けて役員一同一層努力して参りたいと思っております。

以下当倶楽部の最近の運営状況の概要をご報告申し上げます、会員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

まず、会員数について申し上げます。

当倶楽部の会員数は、かつては千人を超えておりましたが、急激な高齢化等の影響もあって年々減少を続け、現在は往時の約半数となってしまいました。
(平成 27 年 11 月現在 558 人)

このような傾向に歯止めをかけるべく、これまで会員の皆様に入会希望者の紹介をお願いして参りましたが、昨年は久しぶりに新規入会者が退会者を上回り感謝しております。

これからも、会員の皆様に入会希望者の紹介をお願いいたします。

次に、当倶楽部の利用者数についてご報告申し上げます。

当倶楽部の利用者数は、一昨年度は 2 万 3 千人でしたが、昨年度は 10 月までの 7 ヶ月間で 1 万 6 千人近くに達しており、1 日平均 80 人から 91 人へと増

加しております。

これは、主として会員外の会議室利用が大幅に増えていることによるものです。

会議室の会員外の利用は、当倶楽部の経理に寄与するところ大であり、会員の皆様の利用に支障を生じない範囲で今後も会員外の利用を進めて参りたいと考えております。会員の皆様のご理解をお願いいたします。

次に、各種会合の開催方法の改善についてご報告申し上げます。

全会員のご出席方についてご案内申し上げております。まず午餐会の席の配置を、従来の「楕形」から「ラウンドテーブル型」に改め、会員相互が歓談し易くするとともに、会員による卓話をお願いすることとした結果、出席者数が大幅に増えました。

特に、1 月の午餐会は大会議室で立食パーティー形式による「新年賀詞交換会」に改めて実施しましたが、参加者は 120 名を超える盛況となりました。

立食パーティーについては、会員相互の親睦の機会を増やすべく初めての試みとして、4 月には会員作品展の機会に、また、6 月には定時総会の後にロビーでこれを行いました。いずれも 50 名を超える参加者で賑わいました。

最後に、当倶楽部の財政についてご報告申し上げます。

当倶楽部の財政は、主として会員数の減少が原因で財務内容が極めて厳しい状況にありました。

この状態を改善すべく一昨年会費の値上げをお願いし、会員の皆様のご理解を得てこれを実施した結果、財務内容は逐次改善されております。

平成 27 年度の財政状況を 10 月までの 7 ヶ月間で前年度と比較しますと、会費収入は会員数の減少を反映して 3,200 万円から 3,058 万円に若干減少しておりますが、貸室収入は 181 万円から 245 万円に、また、食堂委託収入も 38 万円から 58 万円に増えております。

入金収入も、430 万円から 570 万円に増えており、また、特待会員にお願いしている寄附金についても、8 万円から 29 万円に増加し、財務内容の改善に寄与しております。

以上、当倶楽部の運営状況についてご報告申し上げます。

私共役員一同当倶楽部の活性化に向けて一層努力して参る所存でありますので、会員の皆様には、今後共当倶楽部の運営に積極的にご協力下さいますようお願いして新年のご挨拶とさせていただきます。